

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

「救急車の通行を確保する」

日常生活の中で街中を走る救急車を見ない日は無いほどです。そのたびに毎回、毎回、きちんと道を譲ろうとする日本のドライバーのモラルは私が幼少の頃から維持されていると気づきます。

私も運転しているときに遠くからサイレンが聞こえてくると、車列のながれに気を配りはじめて、後方車の減速加減に注意しながら路肩に寄せて停車することが当然と思ってきました。しかし昨今の交通事情がその妨げになる機会に出くわすことが増えてきました。

やっかいなのは大きな交差点より直線道路の混雑です。通行車両が上り下りともびっちり道脇に寄せたくても逃げ場の無い道路のときは心の中で「すみません。」と叫びたくなります。

燃費の良い軽自動車やコンパクトカーが人気とは言え、昔より大型のワンボックス車が圧倒的に増えたことも道路事情を悪化させていると思います。車は大きく出来ても、道幅は広げられないのです。当社の仕事のひとつである交通誘導業務も以前より高度な誘導技量が求められるようになりました。

私自身が、ガードレールのない道脇を歩くときは何ともいえない怖さを感じるので、登下校する小学生1.2年生に後ろから「もっとスミを歩きなさい!!!」と声かけすることがあります。顔を知らない大人から声をかけられると一瞬びっくりする子供たちですが、「車に驚くときでは遅いから勘弁ね。」と心の中ではもう一言添えています。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。一人でも多くの若い力を大切に育て上げたい。社会の発展に貢献できる人材に成長させることを私がお約束します。会社を通して彼らの人生形成の役に立ちたいと存じます。

ぜひ大切な生徒様の進路検討に私の会社を加えて下さい。本日は、御精読ありがとうございました。

松本 隆一郎